

Poco あ Poco

「根っこを大切に・・・」

今人・我楽・すみれの里統括責任者

大谷 晃 司

平成20年2月、社会福祉法人以和貴会「ゆらくの里」に入職し、平成23年1月からワークサポートセンター「今人」のサービスマネジメントを任されるようになってから6年目を迎えました。平成23年4月から我楽（GALA）がスタート。焼菓子の製造・販売を中心とした活動を行う「スイーツファクトリーモンスター」（就労継続B型事業）、生活のリズムを整え、健康を維持することを目的に軽作業や散歩、アート活動を行う「さぼーと」（生活介護事業）のほか、平成25年4月にはベーカーリーカフェ「ナチュラルカフェモンスター」をオープンしました。また同年9月には、香芝市の指定委託事業として「すみれの里」がスタートするなど、約3年間で利用者定員110名を受け入れることができる事業にまで急速に拡大しました。理事長を中心としての事業展開・拡大は、全職員が一丸となって取り組んだ結果であり、地域の方々や当法人・事業所のご利用者・ご家族様のご理解・ご協力のたまものだと思います。ここに感謝申し上げます。

過日、研修会にて、お好み焼きで有名な千房株式会社の代表取締役中井政嗣氏に「人間力」をテーマにお話しをしていただき、「人」を「木」に例える説明がありました。

「根っこ」 ↓ 自分自身の在り方・考え方
 「幹」 ↓ 行動
 「枝・花」 ↓ 結果

本当にそのとおりであると感じました。「根っこ」は、外には見えない部分で自分自身の考え方や思いであり、「幹」は「根っこ」が基になり外に見えるものを形成し、その「幹」が太いか細いかの結果、綺麗な花や果実を実らせます。「根っこ」は、土台であり十分な栄養や水が必要です。

支援活動に置き換えますと、ご利用者の特性を理解し支援に対する勉強を行い、ご家族様との日々の繋がりを大切にすること、支援や活動において立派な花や果実をつけることができると思います。事業拡大を行って来た中で、今一度「根っこ」の部分に意識を持って取り組んでまいります。その結果がご利用者・ご家族様の幸せに繋がると信じ、本気で物事に取り組む「本気の精神」を今まで以上に継続できる様に努力してまいります。

今年度の法人方針は「継続と定着」です。各事業本気で取り組む精神を「継続」することで地域への「定着」を目指し、より良い支援、充実した活動内容の提供、ご利用者・ご家族様が安心してお任せいただける事業所づくりを行ってまいります。今後共ご理解とご協力をお願い致します。

余暇支援活動

「今人」「我楽」「すみれの里」では、原則として月に1回、土曜日や祝祭日に余暇支援活動を行っています。普段の作業とは違い、交流や仲間づくりを目的にご利用者と共に楽しめる活動を企画しています。その一部をご紹介します。



ふえり～ちえ（今人）

主な余暇支援活動として大神神社への初詣、ボーリングや昆虫館等への外出を行っています。出来るだけご利用者の希望を聞かさせて頂きながら計画を立て実行しております。

日常は、パンの製造や販売作業に一生懸命取り組んでおられる皆さん、余暇支援の日いつもの服装や持ち物でなくお洒落をしてこられたり、仲間とゆっくり楽しくお話されたりと普段あまり見ることのできない笑顔や行動を見せてくださいます。最近では、次は「何処に行く？」「こんな事出来ない？」「〇〇食べたい！」など非常に楽しみにされている様子です。

「さあ次は、みんなでどんな事をしようか！？」と楽しみながら企画させて頂いています。

【明日香村にて】



【カラオケにて】



すみれの里

すみれの里では余暇支援活動の主な活動として調理実習を行っております。まず皆でスーパーへ行き買物をします。店内の商品を見る姿は、主婦と変わらず真剣そのものです。調理作業では、各々自分の出来る事をして頂いています。「次どれ切るの?」とみんな積極的に参加して下さい、食事が終わるまでとても楽しい時間を過ごしています。

時には香芝市総合福祉センター内の「SORA」で外食することもあります。メニューの中から自分の好きな物を注文して食べて頂いています。本当に皆さん良い笑顔で活動されています。

【スーパーでの買い物】



【調理の様子】



【SORAにて】



ナチュラルカフェ モンステラ

昨年4月にグランドオープンしたナチュラルカフェモンステラも順調に売り上げが伸びてきました。これも以和貴会のご利用者様やご家族の皆様、そして地域の方々や職員さんたちのご来店があつてのことと感謝しております。そのような中で開催した1周年フェアの際、宇陀産のオーガニック野菜の販売会を実施しましたところ、お客様からおいしいと好評でありましたので、毎月第一土曜日に定期開催させていただくこととなりました。

生産者の方が新鮮な旬のオーガニック野菜をたくさん持ってきてくださいます。珍しい野菜も多数あり、調理法も丁寧に教えていただけます。ぜひお立ち寄りください。

時間は時期により異なりますので、担当の八幡はばまでお問い合わせください (0745-51-7107)。



平成25年度 決算公告

平成26年3月31日現在



社会福祉法人 以和貴会

理事長 下村 卓司

貸借対照表の要旨 (単位:千円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	160,287
固定資産	847,686
(基本財産)	664,543
(その他の固定資産)	183,142
資産の部合計	1,007,973
負債の部	
流動負債	20,181
固定負債	20,492
負債の部合計	40,673
純資産の部	
基本金	640,964
国庫補助金等特別積立金	160,183
その他の積立金	49,050
次期繰越活動増減差額	117,101
純資産の部合計	967,300
負債及び純資産の部合計	1,007,973

事業活動計算書の要旨 (単位:千円)

サービス活動増減	サービス活動収益	579,550
	サービス活動費用	607,941
	サービス活動増減差額	△ 28,390
サービス活動外増減	サービス活動外収益	8,872
	サービス活動外費用	4,897
	サービス活動外増減差額	3,974
経常増減差額		△ 24,416
特別増減	特別収益	1,420
	特別費用	15,103
	特別増減差額	△ 13,683
当期活動増減差額		△ 38,099
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額	106,620
	当期末繰越活動増減差額	68,521
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	50,000
	その他の積立金積立額	1,420
次期繰越活動増減差額		117,101

資金収支計算書の要旨 (単位:千円)

事業活動による収支	事業活動収入	588,422
	事業活動支出	594,195
	事業活動資金収支差額	△ 5,773
施設整備等による収支	施設整備等収入	3,079
	施設整備等支出	26,480
	施設整備等資金収支差額	△ 23,401
その他の活動による収支	その他の活動収入	50,000
	その他の活動支出	1,470
	その他の活動資金収支差額	48,530
予備費支出		0
当期資金収支差額合計		19,355
前期末支払資金残高		126,305
当期末支払資金残高		145,661

○社会福祉法人の経営実態を明らかにし、事業の健全性と経営の透明性を確保することにより、事業の成果を多くの方に見ていただくため、社会福祉法人以和貴会では、ホームページ及び法人機関誌「ぽこあぽこ」において、積極的に事業運営及び財務状態に関する情報を公表しております。

○平成25年度より新会計基準に移行しております。拠点区分報告及び細分科目の開示についてはホームページにて公表しておりますのでご確認ください。

○平成25年度においては、冒頭の「根っこを大切に・・・」でも触れていますが、事業拡大に伴うインシヤルコスト増の関係で赤字決算となっております。

<http://www.yuraku.or.jp/process/>

平成26年度予算

平成26年5月24日開催の理事会及び評議員会におきまして、下記予算を承認いただきました。当年度は当初予算より赤字予算を計上しております。十分な「事業活動による収支差額」を予算計上できなかったため、年度中の改善に取り組みます。

(単位:千円)

拠点名		ゆらくの里	今人	地域	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	事業活動収入	372,300	124,105	120,170	616,575	△ 3,000	613,575
	事業活動支出	330,169	124,807	152,085	607,062	△ 3,000	604,062
	事業活動資金収支差額	42,130	△ 702	△ 31,915	9,512	0	9,512
施設整備等による収支	施設整備等収入	147,580			147,580		147,580
	施設整備等支出	170,600	3,500	2,004	176,104		176,104
	施設整備等資金収支差額	△ 23,020	△ 3,500	△ 2,004	△ 28,524		△ 28,524
その他の活動による収支	その他の活動収入	0					
	その他の活動支出	10,000					10,000
	その他の活動資金収支差額	△ 10,000			△ 10,000		△ 10,000
予備費支出							
当期資金収支差額合計		9,110	△ 4,202	△ 33,919	△ 29,011		△ 29,011

平成26年度事業計画

社会福祉法人以和貴会では、平成26年度の法人方針として「**継続と定着**」を掲げます。平成24年度からの改革（中長期計画）におきまして、各事業の取り組みが効果を発揮していると判断しております。プロセスの段階において試行錯誤を繰り返し取り組んだ事項について「継続」し「定着」させることを目標とし進めてまいります。

また、継続及び定着させる中で最重要課題として取り組むべきことは、人材育成であると考えております。現有戦力のキャリアアップは必須であり、課題目標設定や実行力のあるリーダーを育て、将来構想の実現を目指します。その実行のために組織再編も実行していく予定です。

第27回 上野の森美術館 日本の自然を描く展 入選

この度、アート活動「それいゆ」で活躍されております西谷光世さんが、「第27回 上野の森美術館・日本の自然を描く展」に入選されました。障がいのあるなしにかかわらず、作品を評価していただいたこと、とても光栄に思います。

<展覧会概要>

【会場・会期】上野の森美術館 〒110-0007 東京都台東区上野公園 1-2
平成26年8月7日（木）～8月26日（火）

【主催】公益財団法人 日本美術協会・上野の森美術館、フジサンケイグループ

【後援】文化庁、東京都

西日本展

【会場・会期】原田の森ギャラリー [〒657-0837 神戸市灘区原田通 3-8-30]
平成26年10月1日（水）～10月5日（日）

【後援】関西テレビ（予定）



西谷光世さん作 「夢みるぞうさん」

西谷さんは、現在、月2回「アトリエ それいゆ」というアートのワークショップに参加されています。この会は9年前、関西電力主催「かんでんコラボアート21」という公募展に入選された今人ご利用者様・保護者様のご要望により始まりました。「芸術活動をして楽しいな」「芸術活動をしてよかったな」と感じて頂く事を第一に考え、活動を続けています。

現在、一般の公募展も障がいのある方対象の公募展も、10年前と比べるととて多くなりました。活動の中で生み出される、キラキラ光り輝くような素晴らしい作品を、より多くの方にご覧いただきたいと考え、ご利用者様・保護者様の同意を得た上で、様々な公募展にチャレンジし続けています。

一般的に公募展には入選する作品・選外の作品に分かれますが、「アトリエ それいゆ」の皆さんには常に「大切なのは入選・選外の結果ではありません。結果に拘らず、一つの目標に向かって自分が納得できるまで、作品に向き合う事が大切です。」とお話しさせていただいています。とても難しそうなお話を聞かせるかも知れませんが、皆さんの制作されている時の表情は真剣そのもので、作品を完成された時は、やり遂げた達成感でとても誇らしげです。

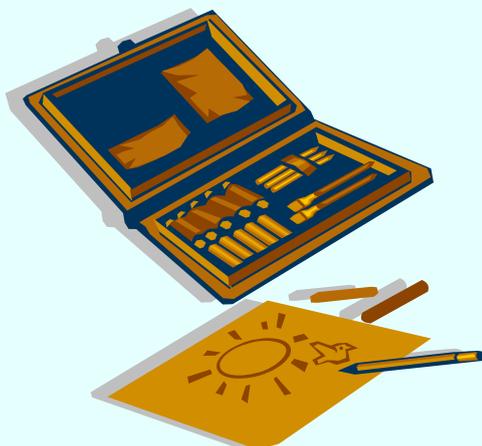
西谷さんは今までにも「全国ポストカードデザイン大賞」や「二科展デザイン部」にもチャレンジされていて、毎年表彰式で審査員の先生方にお会いするのをとても楽しみにしておられます。

この9年間、アート活動を通して、多くの方がご家族中で喜びに包まれる、幸せに包まれるという瞬間を目の当たりにしてきました。公募展に入選するような喜びもあれば、制作した作品を持ち帰り、ほっこりと家族で楽しむ…そんな幸せなひとときもあり、幸せのかたちは様々です。

どのような形であれ、芸術活動という1つのツールを使って、ご利用者様・ご家族の方が幸せになる…そのような会を目指して、これからも精進していきたいと思ひます。

アート活動「アトリエ それいゆ」

岡橋 三起子



第1回 「I WAK I 夏フェス」 開催

多くの方々の協力をいただき、7月19日16時30分より、すみれの里前の保健センター駐車場にて『第1回 I WAK I 夏フェス』を無事に開催することが出来ました。

夏フェスは、香芝市長吉田弘明様のご挨拶のあと、香芝天衝太鼓の皆さんと下村理事長による力強い太鼓の演奏と共にスタートしました。あけぼの・保育学院の園児による、明るく元気いっぱいの「子どもよさこい」では、会場のお客様にも鳴子が配られ園児の踊りに共に参加していただくことができました。



香芝市の吉田弘明市長にご挨拶をいただきました

フラダンスグループ「HURA」は、ゆらくの里利用者様と共に講習を交えながらフラダンスを披露してくださいました。最後は二上会と踊り手による盆踊り。法人利用者様や地域のこどもたちも参加される中、ゆっくりと日が暮れていきました。またよしもと芸人？の方が司会やマジックショーで大いに盛り上げてってくださいました。





屋台は法人各事業による飲食店や授産品の販売をはじめ、香芝市役所ボランティア、香芝市社会福祉協議会、香芝市民生委員OB、更生保護婦人会、身体障害者福祉協会など多くの方々に出店頂きました。ご協力感谢您いたします。ありがとうございました。

利用者様にとっても、地域の方々にとっても、楽しいひと時となったと感じています。今回の経験を来年に活かし、地域の祭りとして、障がい者と地域との交流の場と出来ますよう今後も努力していきたいと考えています。

第1回IWAKI夏フェスを無事開催することができたのも、多くの皆様方のご協力とご支援があったからこそだと思います。また、ご家族の皆様方からは、合計約400,000円もの協力金をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

第1回 IWAKI夏フェス実行委員
堀川 義仁

㊦㊦ ご協力いただきました皆様 ㊦㊦

ゆらくの里家族会、今人・我楽・すみれの里家族会「愛の会」

稲田幸子、長田宏之、下地常揮、西川豊子、小笠原憲史、中久保公彦、川本明広、田中賢、松本逸美、久米レイ子、石原慎也、森田寛、檉葉靖子、西孝、竹島弘栄、伊藤しづ子、堀内左容子、井上猛、三谷清美、山崎尚子、田中義匡、二木悠太、宇田宗浩、武内義範、山本スミ子、清水孝夫、檉木勇、西田清、寺本久子、宮崎俣子、和田誠人、小杉学

(順不同 敬称略)

ほか匿名希望の方多数より協力いただきました。ありがとうございました。

ボランティアフェスティバル in 香芝 2014

7月20日

於 香芝市総合福祉センター

本年もゆらくの里日中支援班として、ボランティアフェスティバルに参加いたしました。ゆらくの里では日々ボランティアの方々と共に支援を行っておりますので、ボランティア活動に取り組まれている皆様と交流を持った事は大変有意義な事でした。また、日中支援にて制作しております芸術作品・オリジナル商品を地域の方々に実際に手に取って感じて頂く場を持たせた事を嬉しく思っております。

本年は当法人の夏フェス翌日ということもあり、ご利用者の参加は叶いませんでしたが、お手伝い頂きましたボランティア様と共に例年同様、沢山のお客様と楽しみながら交流を持つ事が出来ました。

ゆらくの里 支援課日中支援担当
浦林 信二



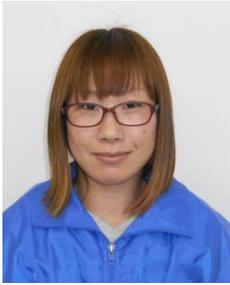
今人と我楽ではパンとお菓子の販売に参加いたしました。ボランティアフェスティバルでは香芝市で活動されている様々なボランティアグループの活動が紹介され、模擬店、フリーマーケット、スタンプラリー、十津川応援コーナーなどがあり、たくさんの方で売り場周辺はとても賑やかでした。

販売では利用者様が大きな声で「いらっしゃいませ!」「おいしいパンはいかがですか!」と声掛けをして下さって、多くの方に商品を購入していただく事ができました。今年もパンは完売で、利用者様も喜んでくださいました。来年度も是非利用者様とともに参加させていただいて、より多くの方にフェリーチェのパンとモンステラのお菓子を知っていただきたいと思います。

今人 ふえり～ちえ担当
甲本 友充世



新しい仲間が加わりました



なか がわ み な こ
中 川 美 奈 子

所属 我楽 (GALA)
さぼ一と担当 (パート)

4月より我楽(さぼ一)で勤務となりました。少しでも多く、利用者様の笑顔のきっかけになれるように頑張ります。

(4月14日入社)



た むら きよ み
田 村 清 美

所属 我楽 (GALA)
スイーツファクトリー
モンステラ担当 (パート)

5月よりナチュラルカフェモンステラで働くこととなりました。出来ない事だらけですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

(5月7日入社)



ちよう らく あけ み
長 楽 明 美

所属 我楽 (GALA)
スイーツファクトリー
モンステラ担当 (パート)

この度、モンステラで働かせていただくこととなりましたが、週2回勤務でわからない事や覚えなくてはならない事が山ほどありますが、皆様の足手まといにならない様に、日々勉強と思いがんばりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(5月21日入社)



かわ ひと あけ み
川 人 明 美

所属 すみれの里
看護師 (パート)

7月より看護師として働かせて頂くことになりました。よろしくお願いいたします。

- ①利用者とそのご家族様とのコミュニケーションを大切にします。
- ②1人1人のニーズを安全に充足できる援助を心掛けます。
- ③毎日笑顔で業務に取り組みます。

私の3つの心得です。頑張ります。

(7月11日入社)



初心を忘れずがんばります

どうぞよろしく

お願いいたします



ボノビル運営について

平成26年5月24日開催の理事会・評議員会におきまして、「ボノビル」の法人所有（購入）の承認をいただき、同年8月8日付で各手続きが完了しました。今後、同ビル内で実施の各事業のニーズに沿った改修等を行う予定です。設備をはじめ事業運営等におきまして要望がございましたら担当職員までご連絡ください。これからも下記のボノビル各事業をはじめ以和貴会をよろしくお願ひ申し上げます。



社会福祉法人以和貴会

理事長 下村卓司

奈良県香芝市磯壁1丁目1057-3 ボノビル

生活支援センター「しえ〜く」
放課後等デイサービスセンター「はぐ・らいぶ」
我楽（GALA）
ゆらくの里「ぷっと」

職員一同

《賛助会員ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただきます。ご利用者のために使用させていただきます。

《ゆらくの里》

谷口融正、増尾明広、中筋廣次、川北司朗、堀井信裕、三島茂子、宮地恵美子、丸尾和夫、森田信行、平岡靖介

《地域事業》

北川広海、藤井宏美

《業者ほか》

岡村プロテックス㈱、山口ガス商会、Ryo設計室、明治牛乳関屋販売所 上村元成、㈱ステップワン、㈱老松園
大良水産㈱ 畔上千尋

（順不同、敬称略）

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願ひ申し上げます。寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

豪雨による被害が各地で相次いでいます。自然の持つ力には驚きと畏怖の念を禁じえません。「忘れたところにやってくる」災害への対策を普段から忘れないようにしなければならないと改めて思いました。

発行：社会福祉法人 以和貴会
住所：〒639-0261
奈良県香芝市尼寺616番地
編集責任者：理事長 下村 卓司
Mail：office@yuraku.or.jp
発行：平成26年8月